

第3回

わがまち調布の輝き女性

～東日本最古の国宝仏を見守る女性～

取材に協力してくださったのは・・・

深大寺に勤める学芸員

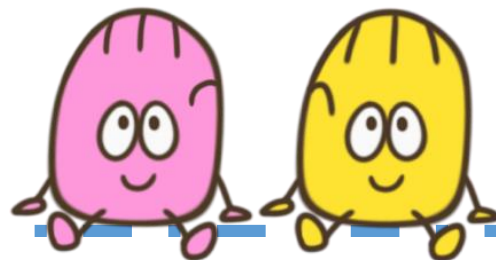


菱沼 沙織 さん



男女共同参画推進課
インターンシップ生の中央大学
3年生2人が取材しました！

左：重田 空
右：小野 優哉



深大寺とは??



〒182-0017

調布市深大寺元町5-15-1

TEL: 042-486-5511

<https://www.jindaiji.or.jp/contact/>



深大寺は **733年創建**。

天台宗別格本山。

日本三大だるま市の一つである、「深大寺だるま市」が行われている。

2017年に銅造釈迦如来像（白鳳仏）が**国宝**に指定された。

学芸員になるきっかけは何でしょう？

大学で日本彫刻史を専攻し、仏像の調査研究をすることが面白いと感じていました。
白鳳仏の国宝指定により、深大寺に文化財の専門家が必要となったため、学芸員としてこの仕事に就きました。



仕事に就くにあたって大変だったことは何でしょうか？

学芸員の資格自体は大学の講義を受けたりする中で取得できますが、就職するためには論文や研究の実績が認められた上で、博物館などの空きがないと入れないことです。



学芸員は何ををするのですか？



文化財の管理・調査研究と普及が主な仕事です。現在は、深大寺が所有する文化財を国庫補助事業で調査しています。他には、文化財の展示や特技の書道を活かしてご朱印授与などの仕事もしています。

現在のお仕事で苦勞なさっていることはありますか？



文化財の保管場所の温度や湿度があまり良い状態ではないので、管理に苦勞しています。



菱沼さんの感じる仏像の魅力とは？



時代ごとに作風や技法の特徴があるところが面白いと思います。

例えば、平安時代前期は丸彫りが多くインド風の顔立ちですが、平安時代後期になると、穏やかな和風になり、構造も材をはぎあわせたりと時代によって変化します。



国宝：銅造釈迦如来像（深大寺）

飛鳥時代（7世紀～8世紀初頭）に作られた。
像高83.9 c m。

保存状態は極めて良好で**東日本最古**の国宝仏として存在する。

<https://www.jindaiji.or.jp/about/kokuho.php>

なるほど！
奥が深いですね！！



どんな人と一緒に仕事をしていますか？



お寺での仕事は非常勤の学芸員と一緒にやるものが多いです。

また、調査事業などで、調布市郷土博物館の方には色々ご協力いただいています。文化庁や東京都の方にもご指導いただくことがあります。



女性の方が多いですか？

男性が多いですが、もちろん女性の方もいらっしゃって活躍されています。



現在のお仕事で女性ならではの視点が活かされているところがありますか？

女性職員の提案で、以前は地味だったお守りも色合いが鮮やかなものが増えてきました。

女性の知恵やノウハウが活かされているところも多いです。

女性職員の皆さんは出産などで仕事をやめたりしますか？

子どもが大きくなって子育てが落ち着いてから働く方が多いです。産休を終えてすぐに復帰した方もいます。

深大寺は女性でも働きやすいと思います。



今後の活動に関してどのように考えていますか？



今後の目標について教えてください。

文化財の調査事業を3年かけて行いますが、今はその1年目です。
目録の完成に向けて、しっかりやり遂げたいです。

深大寺を訪れる観光客に見てもらいたいところはどこですか？

やはり**国宝仏**ですね。仏像は一瞬見るだけでは良さがよくわからないと思うので、素通りではなく時間をかけてじっくりと拝観してもらいたいです。



編集後記☆三

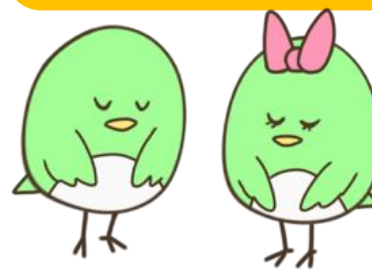


インタビューを通して菱沼さんの様々な活躍を知ることができて良かったです。これからもたくさんの人と協力して、深大寺の良さ、仏像の魅力を広めていってください!! (重田)

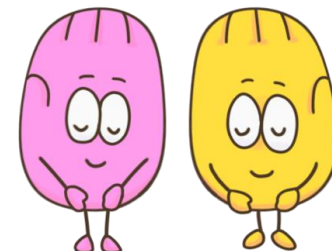
菱沼さんの仏像や活動に対する熱い思いを感じることができました。その思いや活躍はこれまでの経験に根付いているものだと感じました。これからの活動を応援していきます。(小野)



ご覧いただきありがとうございました!!



めじろー(左)
めじ子(右)
あくろす公式キャラクター



しえいく(左)
はんず(右)
調布市男女共同推進課
イメージキャラクター